

栃木を元気に！

ふるさと活力応援隊だより Vol.9



～ ふるさと活力応援隊とは ～

人口流出や高齢化が進む中、農山村地域では、地域の維持や活性化に必要な人材が不足し、その結果、耕作放棄地や鳥獣被害の増加、集落機能の低下などの課題が深刻化してきています。ふるさと活力応援隊員は、県職員として現役時代に培ったノウハウを生かして、地域を元気にするための様々な“ふるさと活動”に取り組んでいます。

隊員数：95名（令和8年3月現在）

〈ふるさと活動の例〉

集落営農の推進、鳥獣被害防止対策、地域保全・環境整備、直売所・農村レストランの運営、食育活動、食と農に関する情報発信 など



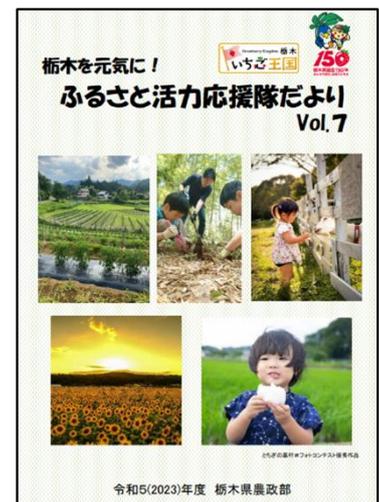
～ これまでのふるさと活力応援隊の活動 ～

ふるさと活力応援隊員による活動は、平成29(2017)年に取組を開始してから、今年で9年目を迎えます。県内各地域における隊員の様々な活動は、「ふるさと活力応援隊だより」の発行等により、広く情報発信しています。

今回の発行で9冊目となりますが、過去のバックナンバーは県HPで閲覧することができます。



県HP



これまでの活動を掲載したバックナンバー

ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

小林 俊夫 隊員（塩谷南那須地域）

令和7年4月、7月、10月
令和8年1月

季刊誌「しもつけの心」で地域の農業の姿を発信

栃木県の農業のあるべき姿、家族経営を大切にしたいと、「小さくても強い豊かな農業—とちぎの家族経営を訪ねて—」と題し、県下の農業・農村の姿を取材し、(株)井上印刷が発行する季刊誌に6年前から投稿し、県民に情報発信してきました。

令和7年度は4回となり、情報発信総回数は1月冬季号で27回となりました。今後も取材を続け、情報発信を行っていきます。

【令和7年度の投稿内容】

○ 4月 「味恋とまと」物語

高松英樹・正穂さん夫妻（那須塩原市）

トマト経営継承、ブランド化への挑戦、「味恋とまと」の誕生

○ 7月 「農家・農村を支える女性の力」

渡辺和美さん（塩谷町）

女性組織活動への参加、女性7人による農村レストランの起業

○ 10月 「農家・農村を支える女性の力②」

加藤農園（矢板市）

地域を代表するリンゴ経営の挑戦、加工と直売の切り盛り

○ 1月 「農家・農村を支える女性の力③」

中村麻衣さん（那須烏山市）

新規就農で果樹園を継承し、新たな夢への挑戦



季刊誌「しもつけの心」の紙面の一部

令和7(2025)年度の農政トピック

～ 栃木県産農産物統一ロゴマーク「とちぎ育ち」が完成～

県産農産物の魅力・実力を品目横断で幅広く消費者にPRするため、栃木県産農産物統一ロゴマーク「とちぎ育ち」を作成しました。

ロゴマークは、栃木県産であることが一目で伝わり、栃木県の豊かな自然や誠実な生産者が大切に育てた農産物であることを表現しました。

今後は、県産農産物のパッケージやPRイベントで掲示し、県産農産物の認知度やイメージの向上を図っていきます。ロゴマークと併せて作成した栃木県産農産物魅力発信ポータルサイトでは、旬の情報や生産者のこだわりなどを発信していきます。



栃木県産農産物統一ロゴマーク
「とちぎ育ち」

～ 全国いちご会議が発足し、 いちご主産県によるPRイベントを初めて実施～

全国いちご会議は、いちごの更なる生産振興及び消費拡大を目的に、生産量上位2位から9位の主産県に栃木県が声をかけて令和7年11月に発足しました。

初年度の消費拡大の取組として、北は宮城県から南は熊本県までの主産県が一同に会し、横浜市で開催された「Yokohama Strawberry Festival 2026」にて各県自慢のいちごの魅力を発信しました。イベントでは、いちごの販売やサンプリング、食べ比べなどが大変盛況で、いちごの消費拡大の機運を高めることができました。

引き続き、主産県で連携し、「日本のいちご」を盛り上げていきます。



イベントの様子

最近の農業農村の動向 ～農村地域におけるインバウンド受入れに向けた取組の推進～

～外国人いちごオーナー体験イベントにより本県の魅力をPR～

インバウンドを対象に、県産農産物や農村地域の魅力を発信するため、外国人いちごオーナー体験イベントを実施しました。

オーナーは、自分のいちご苗に名前をつけ、マイいちごの生育状況をオンラインで事前に観察し、収穫体験イベントに参加しました。

イベントでは、生産者からいちご栽培の説明を聞いた後、大切に育てられた自分の「とちあいか」を収穫・試食し、「とても甘くておいしい！」と声を上げていました。

このイベントや県内農村地域を周遊した様子を、オーナーの1人であるインフルエンサーが情報発信することにより、栃木県の魅力を幅広くPRしています。



外国人いちごオーナーと生産者の交流

～訪日旅行を扱う海外の旅行会社を招請した FAMツアー(モニターツアー)を実施～

県内農村地域へのインバウンド誘客に向け、観光交流課と連携し、訪日旅行を扱う海外の旅行会社を招請したFAMツアー※(モニターツアー)を実施しました。

観光いちご園訪問や農産物の収穫調理体験、自然体験ツアーなど、農村に滞在して地域を楽しむ滞在型旅行は好評価を得ました。

招請した旅行会社による旅行商品の造成を促すなど、農村地域への誘客やインバウンドに向けた情報発信に取り組んでいきます。



観光いちご園での収穫体験



農家民宿での調理体験

※FAMツアーとは:「Familiarization Trip」の略で、観光地の誘致促進のため、旅行業界関係者やメディア等を対象に行う視察ツアーのこと

～農村ボランティアマッチングサイト「TUNAGU」～ 是非会員登録の上、地域を元気にする活動に御参加ください！

TUNAGUは、とちぎの「農村」と地域貢献に興味がある「人」の「ご縁」をつなぎ、とちぎの中山間地域の活性化を目指すサイトです。

TUNAGUの趣旨に御賛同いただける方の会員登録・活動参加をお待ちしています。



TUNAGU
トップページ

○TUNAGUでできること

- クエストで農村に関わる
里山保全や遊休農地の再生などのミッション「クエスト」の参加申込ができます。
- イベントで農村を楽しむ
交流会や収穫祭など農村とみんなをつなぐ楽しいイベント情報を紹介しています。
- レポートを読んで農村を知る
地域の活動報告や若者目線で地域の魅力を伝えるレポートなどを掲載しています。
- 動画を見て農村を知る
活動の雰囲気や参加者の生の声などをまとめた動画を公開しています。
- 特派員になってスキルを活かす
自らのスキルを活かして地域で活動いただけるTUNAGU特派員を募集しています。



また、TUNAGUを活用いただける地域団体も募集しています。御自身が行っている農村地域での活動の参加者募集や情報発信などに是非御活用ください。

※TUNAGUの利用には条件があります。詳細は農村振興課(028-623-2334)までお問合せください。

ふるさと活力応援隊事業の詳細については、下記の窓口にお問合わせください。

お住いの地域	お問い合わせ先	
宇都宮市、上三川町	河内農業振興事務所企画振興部	TEL 028-626-3061
鹿沼市、日光市	上都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0289-62-5236
真岡市、益子町、茂木町 市貝町、芳賀町	芳賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0285-82-4720
栃木市、小山市、下野市 壬生町、野木町	下都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0282-23-3425
矢板市、さくら市、那須烏山市 塩谷町、高根沢町、那珂川町	塩谷南那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-43-1252
大田原市、那須塩原市 那須町	那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-23-2151
足利市、佐野市	安足農業振興事務所企画振興部	TEL 0283-23-1455
事業全般	栃木県農政部農政課企画調整担当	TEL 028-623-2272